

広島市民の生存権を守るために伊方原発再稼働に反対する1万人委員会

<http://hiroshima-net.org/yui/1man/>

◆主催：広島市民の生存権を守るために伊方原発再稼働に反対する1万人委員会（連絡先 1man_office@hiroshima-net.org）◆調査・文責：哲野イサク ◆チラシ作成：網野沙羅

広島から一番近い原発

直線
わずか
100km

中国電力の島根原発ではなく

愛媛の四電・伊方原発



1. 私たちは伊方原発再稼働反対決議を求めて広島市議会に請願を提出しています。
2. 現在共同請願人は2,082人(2014年3月2日現在)です。目標は広島市有権者1万人の共同請願人です。
3. 所定の署名用紙に署名をしていただくことで共同請願人となることができます。
4. ぜひご参加ください。

伊方原発の危険

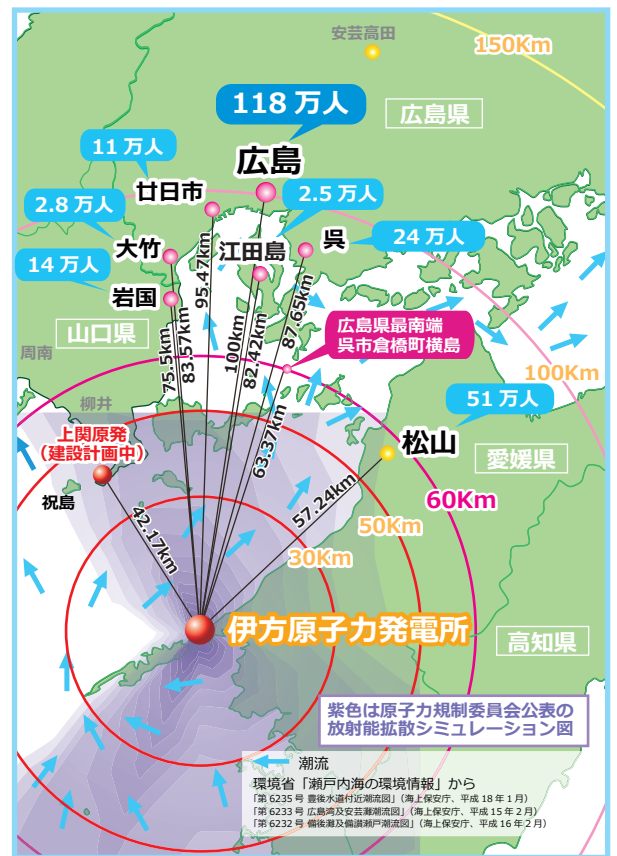
- 瀬戸内海に大量のトリチウムを放出
- 危険なプルサーマル炉 (燃料にプルトニウムを使用)
- 南海トラフ地震の震源域・巨大活断層「中央構造線」の直近に位置
- 原子力規制委員会のシミュレーションで広島は1週間の被曝線量4mSv、「一時移転」の対象区域



四国電力 伊方原子力発電所 (加圧水型軽水炉)				
号機	認可出力	燃料	施工	経過年数
1号機	56.6万kW	二酸化ウラン	三菱重工業	36年
2号機	56.6万kW	二酸化ウラン	三菱重工業	31年
3号機	89万kW	ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料	ウエスティングハウス三菱重工業	19年

もし伊方原発が 苛酷事故を 起こしたら...

深刻な放射能被害を受けるのは、広島市ばかりではありません。原子力規制委員会の苛酷事故時放射性物質拡散シミュレーション（2012年12月）から読み取れる1週間の被曝線量は、各地以下の結果となります。同じく原子力規制委の原子力災害対策指針（2013年9月5日）によれば、全て「一時移転」の対象区域です。



原子力規制委員会の放射能拡散シミュレーションによる 各地が被る予想被曝線量（実効線量）※各市の市役所までの距離

【参照資料】 放射性物質拡散シミュレーション http://www.nsr.go.jp/activity/bousai/data/kakusan_simulation1.pdf
 原子力災害対策指針 http://www.nsr.go.jp/activity/bousai/data/130905_saitaishishin.pdf
 原子力災害対策指針のポイント部分について http://www.inaco.co.jp/isaac/shiryo/genpatsu/NSR/nsr_01.html

